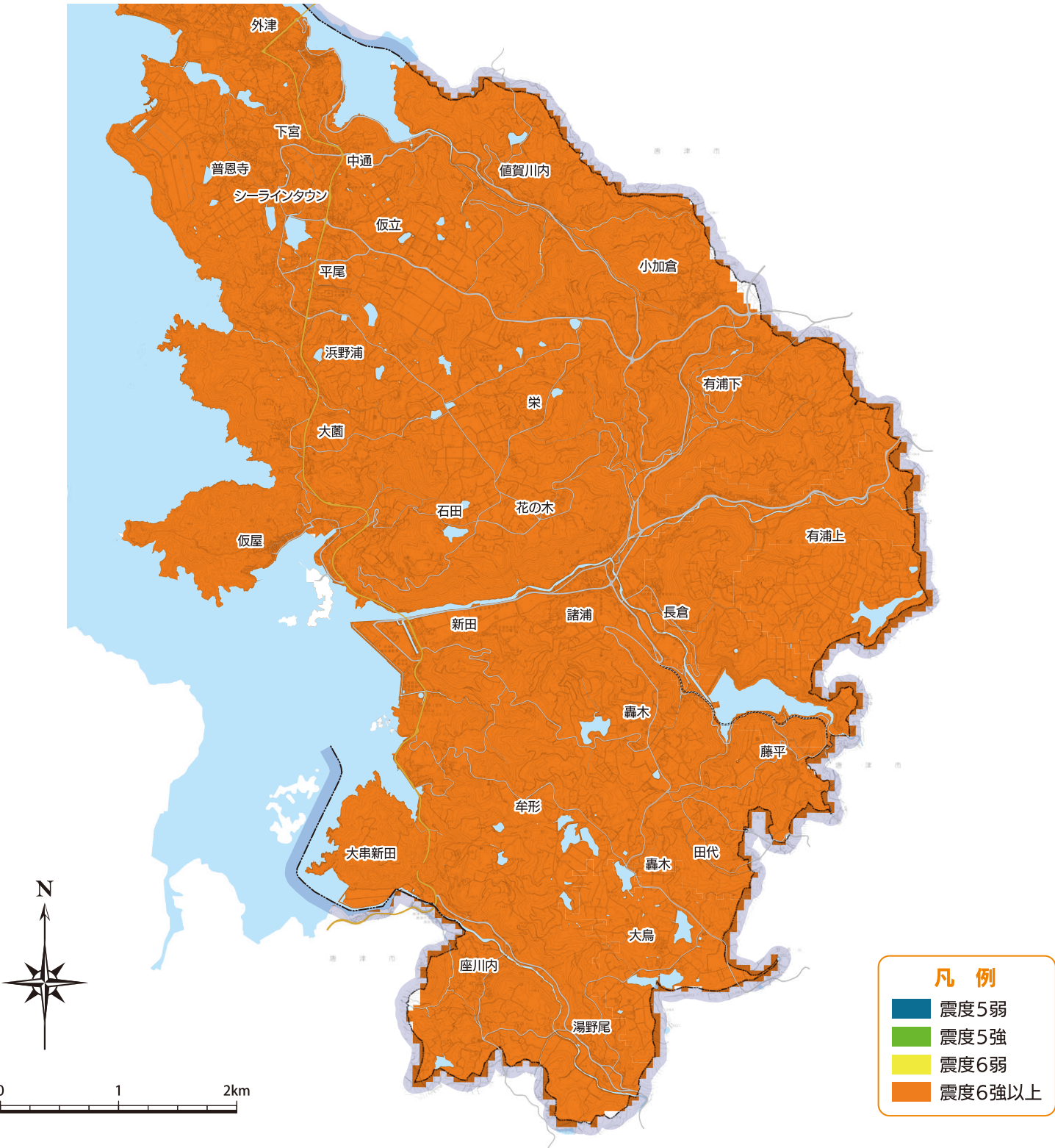


揺れやすさマップ 玄海町直下を震源とした場合

玄海町の直下を震源として地震が起きた場合を想定した「全国どこでも起こりうる直下の地震(マグニチュード6.9)」を想定地震としています。

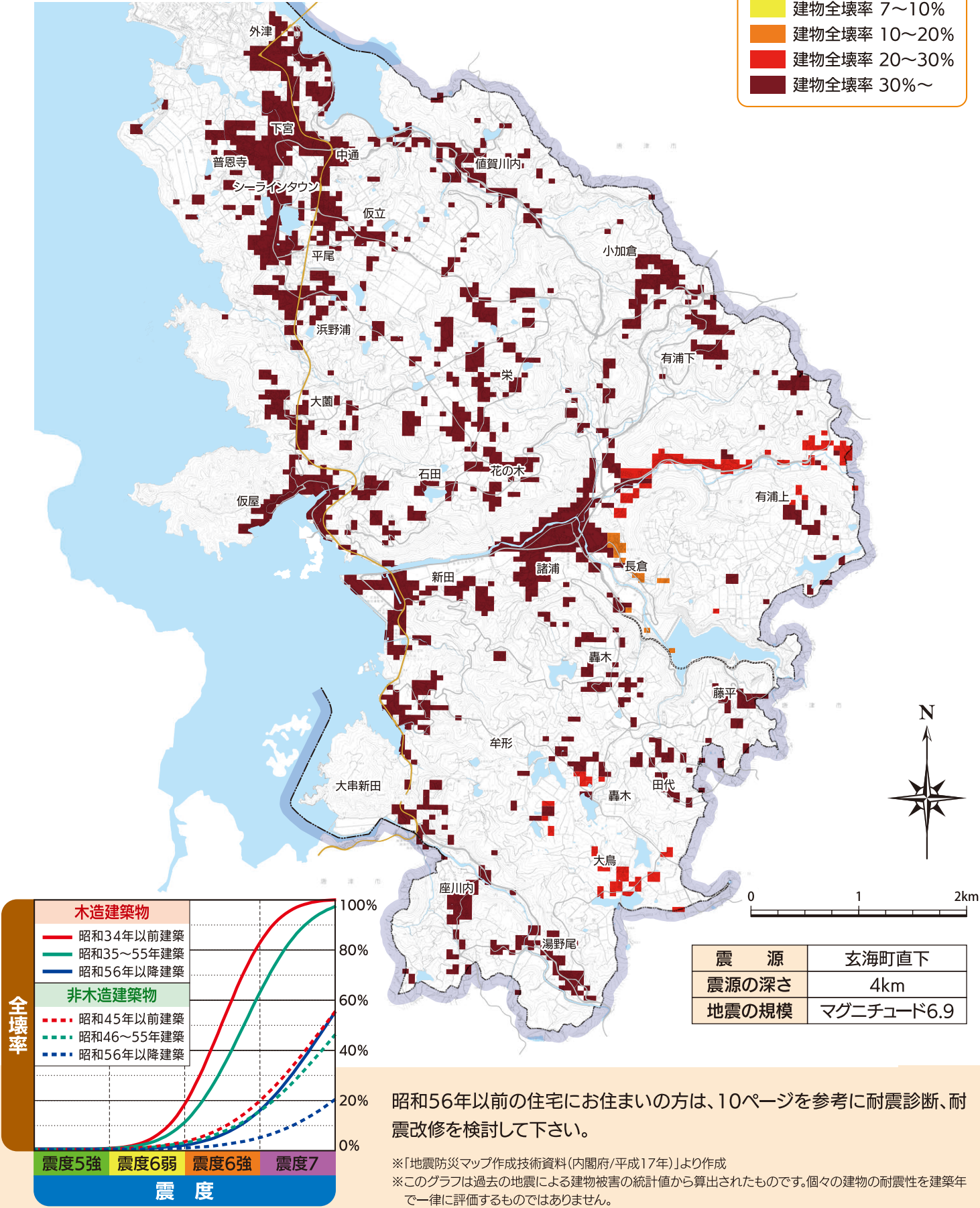


震度と建物全壊率の関係

右のグラフは過去の地震による建物被害の統計から、震度と建物(構造・年代別)の全壊率の関係を導き出したものです。古い耐震基準をもとに建てられた建物ほど全壊率が高く、特に震度6弱～6強から急激に高くなり始めます。震度7では昭和56年5月以前の旧耐震基準により建てられた木造建築物の全壊率は90%以上になると想定されます。

危険度マップ 玄海町直下を震源とした場合

玄海町直下を震源とした地震が発生した場合の建物全壊率を表しています。



昭和56年以前の住宅にお住まいの方は、10ページを参考に耐震診断、耐震改修を検討して下さい。

※「地震防災マップ作成技術資料(内閣府/平成17年)」より作成
※このグラフは過去の地震による建物被害の統計値から算出されたものです。個々の建物の耐震性を建築年で一律に評価するものではありません。